

◆ Yokoso Obara Linkai

Take Free [0円]

おばらのじかん

— 第27号 —

2023 Spring

巻頭
特集

山間部はマニアな車とバイクの宝庫!?

おばらの乗り物事情

モーター好きがいっぱい?



[キッズダンスの教室]

[道慈山観音寺初午祭]

[マンガイカくんキンちゃんの小原日記]

[小原いろいろ情報]



小原人集まれ! 「おばちゅう卒」
www.facebook.com/obachuu

おばちゅう
以外でもOK

おばらの乗り物事情

小原には車やバイクにこだわりのある人が多く住んでいます。田舎だけじゃない小原の一面を特集しました。



後ろに乗っている可愛いエンジン

当時のままのレアなエンブレム



次へー小原のレンタルバイク屋さん写真



ラリー第一線で活躍するTOYOTA Gazoo Racing 安藤さん(右)

Photo: Keigo Yamamoto



次へー小原のモーター事情写真

2021年に豊田市上原町から乙ケ林町に移住された林龍太郎さん、和美さん、そして愛犬のブルちゃん。龍太郎さんは、2006年からスバル360だけを取り扱い、販売だけでなく、整備などのサポートを行う会社「D's」(ディーエス)を営んでいます。乙ケ林の交差点の角に、素敵なガレージと愛らしい車、そしてログハウス…。小原で暮らし始めて「年ちよと」。楽しいお話が聞けそうです。



薪ストーブのある素敵なお宅

小原を移住先に決めた理由は何か？

いろいろなタイミングがあったと、龍太郎さん。

以前住んでいた場所が道路取用で立ち退きの話が出たのはコロナ前。家を建てるのもコロナ前。

家を買うタイミング、引越し、土地さがし、見つかったタイミングなどを含め、ピースがぴたっとはまるようにすべてが決まっていた。元々僕は田舎暮らしがしたかった。気に入ったハウスメーカーさんに何年も通い、自分の理想の建物を建てられる土地を探し、ハウスメーカーさんにも勧められたのが小原だった。

外に停めてある、黄色のスバル360がそうです。今も現役です。

次は、和美さんが趣味で作っている廃材を使ったオリジナルの雑貨について。作り始めたきっかけは何だったんですか？

仕事を辞めて、庭作りをしようと思って、雑草対策にタダで手に入った古いパレットを庭に敷き詰めました。

かなり重労働ですね。はい。その時かなり頑張っていました。手を痛めてしまいました。

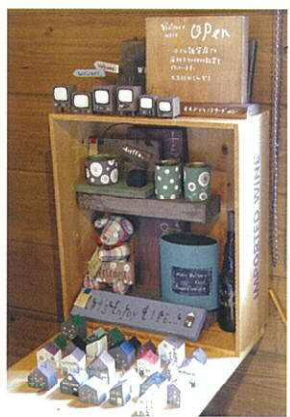


廃材を使った可愛い小物たち

さらにこんな出来事も…

仕事柄、音や煙などが出たり車が入りたりするので、この場所を決める前にケリラ的に「近所をピンポン」して仕事の説明をして聞いてみた。皆さんの感触はとも良く、その上、元の場所の存在をみんなが知っていた。

この場所を決めてからも、元村長さんのお宅で立派な建物を解体しなければいけないというのはハードルが高かった。そんな時、その家を愛されていた親族の方たちに「解体費」を出席してませんか？と誘われて参加した。そして「この場所はとても繁栄した場所だから、商売するならば」と上手くいわよ！と言われた。明確な理由はない



庭が出来て花を育てていたら、多肉植物を育てている友達と物々交換をしようという事になって。ただそのまま渡すのもなあと思うので、リメイク缶を作ったんです。そうしたら、元々細かい手作業は大好きなのでどんどんハマっていききました。6、7年前からマルシェやフリーマーケットに出店し始めました。作っていくうちに、自分らしいものが作りたいと思うので、フリーハンドで字を書くようになりました。

他に作品作りでこだわっていることはありますか？

廃材のリサイクルがコンセプトです。普段、何げなく捨てられてしまう廃材をリメイクしてちょっとオシャレな雑貨作りを目指しています。傷とかもなるべく活かして。そして必ず汚れはきれいに拭き取って、作って楽しいのが大切です。今はこの趣味があつて本当によかったと思います。

理想の場所を手に入れた龍太郎さん。お仕事についていかがですか？

中学の時に読んだマンガ(こち亀)に、スバル360が載っていて好きになったのがきっかけです。20才の時に初めて自分でも購入しました。買った時点で古い車なので、メンテナンスが必要。最初は人に見てもらったが、そのうち独学で自分でメンテナンスするように。そして、スバル360に特化した工場を自営でやろうと決めました。

スバル360だけを扱って修理しているので、専門性も高くなり、自分の技術も深くなっていた。今ではディーラーさんから修理の依頼や問い合わせもある。そんな龍太郎さんの腕を買って日本各地にお客さんがいる。でも、インターネットが普及した今だからできる商売。維持が大変な車でも、ネットで同じように苦労している人が見つかる。何とかなりそうと思うと手を伸ば

最後に、小原に来てよかったこととは何ですか？

龍太郎さんは、「二歩家を出ればすぐにツーリングに行けます。時々、朝ふらっと出かけます。理想とする生活ができています。すごくしあわせです。」

和美さんは、「自然がとても豊かで、人との距離感がとてもいい。家の周りや家の中で好きなことをしているだけで楽しい。街で暮らしていたら、感じられなかったことがたくさんある。これから、地元の人たちと関わりあつて暮らしていきたい。」2人にはもう「おばらのじかん」が、しっかりと流れているようです。

M.M



機能的で素敵なガレージとお宅

小原のバイクに聞いた小原のモーター事情。

小原には意外にもカスタムされたハーレーに乗っているバイカー(なぜかハーレーだとライダーとは呼ばない)が意外と多いことはご存知でしょうか?そんなハーレー仲間の方々に小原のモーター事情を聞いた。

Q 小原にはバイクや車好きが多いように思いますがなぜか?

A 小原の子は、高校生の時に、学校から遠いので原付き(原動機付自転車)に乗っていた人が多く、バイクはとても身近な存在だったそう。そして18歳、普通自動車の免許を取りだすと、田舎で遊ぶところも少なかったため、嬉しくて山道をドライブしたり、車で遊ぶことも多かった。

時代的にもモータースポーツブームだったこともあり、ジムカーナという自動車競技をやっている人も多かった。車を操るのが楽しくて、冬に雪が降るとわざわざ雪山に行ったりもしたという。「当時、雪山でラリーの東海シリーズチャンピオンに乗せてもらったことがあるけどすごかった。」と目をキラキラして話してくれたメンバーは今も現役でサーキットを年に何度か走っているのだそう。

Q 年代が10歳以上も違うメンバーがいるのはなぜか?

A 消防団やOVC(小原ヤングクラブ)の影響が大きいという。活動のなかでいつしよに、スキーに行ったり、飲みに行ったりで、付き合うようになり、自動車やバイクの楽しさも教えてもらったそう。(*小原ヤングクラブは小原村の時にあった地元青年の団体で、夏祭りなどを運営していた)

Q なぜカスタムされたハーレーにみなさん乗っているのか?

A これも先輩の影響が大きいそう。岡崎にある有名なハーレーのカスタムショップ「ゼロエンジンアリング」の和テイストのカスタムバイクを見て、「目惚れした先輩が即購入。それに影響されて、メンバーも次々とハーレーに乗り換えていったそう。でもゼロゼロエンジンアリングのバイクがこいいけど、ガソリタンクが小さいのも多くて、ほんとに好きでないとなかなか乗れない。」と笑って話してくれた。今回は参加できなかった。恒例だったツーリングはコロナ禍で、全員では行けてないが少人数で昨年行ったそう。今年はずいぶんフルメンバーでツーリングに行きたい。

小原の土地柄からのモーター事情が垣間見られた気がした。小原はマニアなモーター好きが多いようだ。

T.S
今回登場できなかった
1948年式のハーレー



バイク好き・バイクを始めたい人必見!!小原のレンタルバイク屋さん。

ここ数年、サイクリングやライダーの方が増えましたね。海や山の景色の少ないエリアを走るのが、気持ち良いのだと思います。そんな中、とても珍しいレンタルバイクをしているのが、小原の下仁木にある「土井自動車」。今回は社長の土井孝哲さんにインタビューしてきました。

Q いつからレンタルバイクを始めましたか?

A 始めて4年になります。あまり小原の中では知られてないようですね(笑)

Q バイクは何台あるのですか?

A 15台前後ご用意しています。また、ヘルメット・ライダースーツ・グローブ等備品もご用意しています。

Q 土井さんのレンタルバイクの特徴を教えてください。

A 全てが一から組み立て直したバイクです。パラパラにし、二つの部品をチェック・洗浄もしくは入れ替えを行い、組み立てていきます。

さらにこだわりがあり、作り直すバイクは昔に流行った車種に決めています。例えば、

- ・Kawasaki ゼファー400
- ・Honda CB750 450
- ・Suzuki GBXインパルス
- ・Yamaha V・MAX
- ・XR400(部紹介)などを置いています。

Q 集客や宣伝はどのようにしていますか?

A SNSと口コミがメインになります。グーグル検索「ルート419」ですぐに出ています。写真や情報、申し込みに繋がります。そして口コミ。僕自身が広げた以外にも、バイク好きライダーが広めてくださっています。先ほど説明したように、今ではなかなか乗れない車種を取り揃えている為、



レンタルバイクのお客さん

自分のバイク以外の名車に乗ってみたい気持ちになった方が借りに来てくださいます。

Q 他にPRしたいことはありますか?

A 我が社なら、いろんなバイクに乗って比べる楽しさを体験できます。さらに、整備も不要です。体で備品含めレンタルができます。ガソリンスタンドも経営しているので、返却の手間もかかりません。また、初心者や女性向けにわかりやすい原付もありますよ。また、お客様の要望があれば販売もしています。まずは、SNSを気楽にご覧いただくか、直接見学に来て頂けると嬉しいです。

以上、土井さん、インタビューありがとうございました。

「4年かけて、60%の形になってきた。まだまだ100%目指して進んでいきます。」と語った土井さんからはバイクへの愛と楽しさが伝わってきました。

【お問い合わせ】豊田市下仁木町諸屋367-1
株主 土井自動車 土井 孝哲
電話 0565-65-3137
【検索】ルート419 JJ



楽しそうに話してくれた皆さん



バイク用品もバッチリ



往年のバイクがたくさん



1から組み直しているバイク

小原にプロのラリー・コ・ドライバー?



TOYOTA Gazoo Racingの安藤選手、お子さんとラリーカーの前でパシャリ!

昨年、豊田市でWRC(FIA世界ラリー選手権)が開催されたのは記憶に新しいところですが、小原にTOYOTA GAZOO Racingチームと契約し、ラリー界の第一線で活躍している選手がいるのをご存知でしょうか?

その選手の名は安藤裕さん。小原から一旦、転出しましたが、元々住んでいた町内に家を購入し、現在は小原と名古屋の2拠点で生活しています。町内の方には久しぶりに子どもたちの声が聞けるようになったと喜ばれているそうです。安藤さんは、「いつか(故郷に)帰る」と思っているから、早く帰って来ると良いと思う。「車さえあれば、(小原は)名古屋からも近くて生活は楽な田舎だ」とも話してくれました。

全日本ラリー選手権などで活躍するプロのコ・ドライバーの安藤さんは、ドライバーの真実選手とチームを組んでレースに参戦したり、モータースポーツを啓発する活動なども行なっています。コ・ドライバーとはドライバーと共に車両に乗り込み、ナビゲーターとして、道案内や時間管理などの走行の手助けをする選手のこと。



薪ストーブなど田舎暮らしも満喫!

安藤さんはドライバーには運転だけに集中してもらえないように、場合によっては起床時間から食事の管理などレース外でも手助けをしているそうです。

安藤さんがモータースポーツを始めたのは遅く、30歳を過ぎてから。スポーツカーを買ったことと見る側から参加する側になったそうです。ラリーが好きになった理由は小原にあるといえます。子供の頃に父親が小原に水道を引く仕事をやっていたときに、林道をいつしよに乗っていたそうです。その記憶からか細い道がとても好きで、今のラリーにもつながっているといえます。はじめはドライバーからラリーを始めたそうですが、ドライバーとしては楽しむというレベルを超えられ無ければ、コ・ドライバーだったら自分の能力を活かして競技のトップレベルの世界を見ることができると感じコ・ドライバー専門となったそうです。

オスメのドライブコースをお聞きすると、WRCのコースにもなった、旭高原元気村、どんぐりの里いなぶ、下山の三河湖などへいくと、WRCの息吹を感じられる。今年もWRC(世界ラリー選手権)が豊田市で11月16・19日に開催されるので「ぜひ、豊田一体として盛り上がる」といいなと話してくれました。これからの小原

出身の安藤さんの活躍は見逃せません。



公式facebook
公式instagram

環境もいいし、近所の人たちもいい！
 同世代の人達と一緒に過ごしたいと思ひ、
 キッズダンスの教室をはじめた



あの沖縄アクターズスクールで5年間ダンスを学んでから地元岡崎に戻ってきた白川さん。数年後に結婚、出産を機に小原に移住してきました。

小原地区内の各ごとも園、小学校のお母さん達とつながりをもちたい、交流をしたいと思ひはじめ、2019年にキッズダンス教室をスタートさせました。その1年後、大分県に住む先輩から誘われて高齢者向けのヒップホップダンス教室「JBR」(じいちゃんばあちゃん、レポリユーション(革命)の頭文字をとって)をはじめました。地域の方が集まり、キッズダンスは現在休止中)詳細はお問い合わせ下さい。

あ
 の沖縄アクターズスクール
 で5年間ダンスを学んでから地元岡崎に戻ってきた白川さん。数年後に結婚、出産を機に小原に移住してきました。



お願いしてポーズをキメてもらった白川さん



躍動感のあるダンスの練習

JBRは毎月第1、2、3木曜日。体験レッスンも随時受付しています。

(キッズダンスは現在休止中)詳細はお問い合わせ下さい。

電話090-9028-0271
 下記公式YouTubeチャンネルもぜひみてください。

M.K



JBR公式 YouTube チャンネル

いかん 小原日記
 OBARA-NIKKI

おばらにきたとき
 IKAくんまだ免許なし
 のってたクルマは
 ワインレッドの
 カルディナ

その後...
 シルバーホワイトCX-3
 茶のスィフト
 青のマーチ
 黒のエアリー
 シルバーエアリー
 フォレストグリーン
 のエアリー
 いろいろのつたよね

そしてミニイは...
 新車です
 1万2千円は10万円

ナント空飛ぶクルマ...
 IKA ドローン?

小原 あれこれ!?
おばらの行事
道慈山観音寺 初午祭
[3月26日(日)]

初午祭は毎年3月末日(日)におこなわれる祭事で、お寺の中で、住職が護摩木を焚いてその煙を浴びて、みなさまの諸願成就をご祈禱します。昔は、多くの農家で馬



が飼われており初午祭には、村の近郊はもちろん遠く名古屋や多治見方面からも首に鈴を付けた飾り馬の列が続いたそうです。その当時は仁王門にある奉納された千頭馬図そのままの賑わいがあったそうです。

豊田市千洗町道慈一〇九・二〇合併地

おばら地区の物件を探すなら!

豊田市 空き家バンク

www.city.toyota.aichi.jp/akiya/

小原の情報ページ
 『おばちゅう卒』是非登録してね!
 www.facebook.com/obachuu

小原いろいろ情報

- 3月26日(日) 道慈山観音寺 初午祭
 今年は予約制で開催します。護摩木をご祈禱したい方はお問合せください。[ご祈禱料三千円]加藤英治 090(2682)2797
- 5月28日(日) 小原歌舞伎五月公演
- 6月17日(土) 踊る舞!おいてん小原
 おいでんまつりの地区予選兼イベントを開催予定! 会場豊田市 緑の公園 詳しくは小原商工会まで
- 6月17日(土) おばらマルシェ
 地元小原の野菜やグルメクラフトショップなどのマルシェ。会場四季桜公園(予定)

小原ならではの地歌舞伎を無料で楽しめます。(おひねり歓迎) 会場小原交流館「ザ・小原座」

STAFF **小原白亭感** 編集後記

田舎の人はバイクや車好きが多いように思います。自身で思い返してみても、山間で娯楽が少ないので、身近にあったバイクや自動車を使って仲間を楽しんでいたように思います。

今回の取材で、住みやすいって何なのかな?と考えました。人、物、自然…。それぞれが程よい距離感。小原は、それがいい感じであるのかなど、思いました。

驚いたのが、バイクをバラバラにして一から手造りしている所。組み立て中のバイクもありました。一台を完成させるのに、多くの手間と時間を要するでしょう。本当にバイクが好きなんだろうと感じました。

身体を動かしたほうがいいのはわかっているんだけど…。ってそれがHipHopだったらサイコーに面白い!年齢なんて関係ない!!子どもたちも65歳以上の方たちも笑顔で踊って、掛け声あり、ポーズ決めたり☆ノリノリな取材になりました(笑)

T.S(今回編集長) M.M J.I M.K